十日 三日 日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十五
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十五
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金武錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

色川製材所問題で 平初町會混亂に陷る

結局調査委員五名を擧げて三日以內に調査 十七日に町會再會と決定

平町初町會は既報の通り今十三日定刻より遲れて午後二時開會議事に入るに先立ち青沼町長、井上議長兩氏から簡單な年頭の挨拶あり、井上議長開會を宣す

▲特別稅戶數割隨時賦課額は原案通り可決

▲中野勇吉氏の特別稅戶數割賦課に對する異議申立てを申立て相立たざるものと決定

▲田町區長石坂詮太郎氏外二名出願による田町有地にあるポンプ小屋を田町區に無償交附の件は前例あるにより原案通り交附と決定

▲名譽職員の費用辨償支給規定改正の件提案通り決定

以上を以つて町提出議案は一寫可決。次いで馬目武之助、馬目雅治兩氏提出の建議案

一、才槌小地內色川火力製作工場設置は町民の生活を脅威するものに付町村制第四十三條により平町の公益を害するものとして監督官廳に設置反對の意見書を提出するものとす

理由

馬目武之助氏より說明

議長井上茂作殿

以上朗讀終るや綠川議員立ち井上議長は色川製材場設置の許可を得る際に盡力された公正の議事を期して議長席を野崎副議長と代られたしと要求したが井上氏苦笑したまゝ次いで馬目武氏發言を求めて立ち

色川火力工場は附近住民の生活を脅威するもの町は且つて才槌小路に頻發したる火災を知つてゐるであらう、色川氏には氣の毒だが斯る工場の設置を見るのは町不安の源泉となるから公益の爲め意見書を提出したい

と屢々說明傍聽席から拍擊が起る。次いで馬目雅氏

「提案者の一人として前者の說明の補足すると前提して色川火力製材場設置反對の意見書提出は將來第二、第三の色川問題が惹起するのに備へて藥石としても必要だと力說

井上議長

綠川議員から議長忌避の言あつたが自分は土地問題に對しては佐藤三平氏等の伊囑により解決に奔走した事實はあるが何等今後の問題には依囑された事もなければ働いた事實もない

と冴やかに突放す、議場に名答辯の聲がわく

綠川議員「地元議員として地元の輿論を代表して一席辯じ上げる……

色川工場の去四年の出火事件は巷間傳ふるところによるとコールタールで附火したらしい…………

と暗に放火だと言はぬばかりで多田井氏から詰らない責任の無い事を言ふな、と彌次られるが冗辯が多く傍聽席からも人心攻擊は止めろ……の聲が出る

多田井氏代つて立ち

遺憾ながら本建議案採擇には反對であると堂々の論陣を張つて反對意見を述べ

鈴太光氏

事は見樣によると輕いユーモアーを混えて即決すべきものにあらずと流石に長老らしく採擇に至るまでに調査委員會を設置したいと緊急動議を提出

此の問堀、馬目雅兩氏間に烈激な應酬が繰返される

吉田（寅）氏

自分は此の問題は餘り知らない建議者は行く〳〵は行政訴訟まで行く覺悟ありやなしや

馬目武氏

未だそこまでは行かない

野崎氏

此の問題は嘆かはしい自分は鈴木光氏の意見に贊成して愼重審議したい然も委員會は五日以內に調査再町會を開會したい

馬目雅、綠川、根本、吉田寅何れも發言を求めて議場騷然としたが井上議長構はず鈴木光議員の動議により野崎氏の修正意見を加へて三日以內に調査十七日に町會を召集すると宣し滿場一致で可決井上議長指名の下に左記の通り委員を指名した

根本品藏、馬目雅治、猪狩觀德、鈴木光吉、吉田五平

平町區長會

失業調査其の他協議

平町區長會は既報の通り今十三日午前十時から平町會議室に於いて開會左記を協議正午散會した。提出事項は

一、就學兒童に關する件

昭和九年度新入學兒童の就學通達書交付期日切迫せり近日吏員出張兒童現住の有無調査の筈に付各位不在なるも現住者名簿の所在を明かならしめ置く樣御配慮を望む

九年度就學兒童は左の期間出生者とす

昭和自二至三年四月二日の生出者

一、寄留地受檢願に關する件

本年徵兵適齡者にして寄留地に於て檢査を受けんとする者は本月中に其の寄留地（兵事官市區長）宛願書を市町村役場に提出する規程に付期日を失せざる樣圖內に周知方御取計煩度

一、共用栓盜水防止に關する件

公私設共用栓は給水條例改正後計量給水制となり使用料は各使用者の負擔となりしは既定の事實なるも尙未だ鍵、鑑札の交附を受けず秘かに使用するもの發見せられ鍵鐵札の沒收せらるゝもの尠からざるに付使用者各自の注意を喚起し是が防止に努められたし

一、納稅改善に關する件

納稅の改善に關しては漸次良好の域に向ひつゝあるも尙改善の要あるを認む依て各位は納稅觀念皷吹の爲めに一段の努力あらんことを望む

一、失業狀況調査方依願の件

馳走になつた上 主人を德利で擲る

虫のよい亂暴男檢擧さる

玉川村大字住吉字濱宿農秋葉市三（二六）は去月二十六日午後七時頃外二名の友人と共に同村濱宿左官職馬上金彌（二八）宅で馳走になつて泥醉した揚句些細の事から主人役の金彌と口論を始め酒德利を叩き付けて金彌の頭部に全治三週間を要する重傷を負はせた事件を此の程に至つて平署の探知するところとなり十三日市三は傷害罪として檢擧嚴な取調を受けてゐる。

鐵骨火の見櫓を寄附

好間叶田組頭の美擧 今日盛大な竣工式典

好間村消防組頭叶多清氏は私財を投じて鐵骨火見櫓を建設村に寄附する事になり豫ねて建設工事中であつたが此の程落成したので今十三日午後一時から同村役場に井上縣會議員、關內正一氏、金成村長以下村內有志多數を招待竣工式を擧行した。

醫師會總會

議事其の他

石城郡醫師會第二十八次定時總會は去八日午後一時から平町二丁目常磐銀行支店樓上で開會各種報告後議事に入り松村理事から改正醫師法令並諸願書提出、郡醫師會々則改正の件、諸團體並に各種組合より診療に關して囑託の申込ありたる場合に關するの件等を詳細說明するところあり午後四時半閉會午後五時から住吉屋本店で懇親會を開催したが、現在同會は會員九十六名あり今年度の新入會員は平町鈴木正男、同五十嵐雄二、同志賀政光の三名である。

泥醉して 隣家に乱入

鹿島村大字三澤字舘一八四家重雄（三六）は去月十四日午後九時頃自宅で飲酒泥醉した揚句附近の長瀨明貞方裏戶を破つて亂入した事發覺十三日家庭侵入罪で檢擧平署の取調を受けてゐる。

鼻の藥『チクノオル』
山野邊藥局

産科
婦人科
外科
藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 内木宗八
藥劑師 玄番彌一
入院隨意
病室完備
平町新川町十九
木村病院
電話一六四番

喜びの湯本 役場落成式 今日盛大に

湯本町役場廳舍の落成祝賀式は今十三日午前十時から同町新廳舍に於いて盛大に擧行石川町長から經過報告あつた。

釣友會 新年宴會

平釣友會では十一日午後六時から田町月の家で新年宴會を開催したが出席者三十余名で盛會であつた。

擧動不審で 青年檢擧

昨十二日午後五時頃平町南町川岸通りを徘徊してゐる擧動不審の青年があるのを密行中の平署員が發見本署に引致取調たところ此の男は當時住所不定無職茨城縣生れ佐藤豊（二三）で去月中同町内各所で銅線約三貫匁を窃取した旨自白したが余罪ある見込で引續き取調中。

刑務所を出たばかりの男 四日目で窃盜

小名濱町字松の中後場無職崎村正太郎（二三）は去る一月七日懲役一年の刑を終えて宮城刑務署を出所し湯本驛までの乘車券で綴驛に下車し驛前カフエで飲酒し服役中貯えた十餘圓を全部費消し無一文となつて湯本驛に下車し自轉車一輛價格三十圓、花器價格十圓を窃取した事發覺十二日泉村で植田署に捕えられ十三日平檢事局に送られた。

平町土橋通り
本店 谷屋靴店
平町三丁目マルトモ前
支店 谷屋支店

各種コム靴販賣
豊田屋ゴム靴店
平町三丁目驛通

ラヂオ製作
電氣機具一式
古山電氣商會
平町一丁目

二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

夜間診療
胃腸 内科 胃腸病科
性病 花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）

貸切車の御用命の際は
是非電話六四〇番尼子タクシーへた願します
新車も購入致しました
平町二丁目
尼子タクシー
電話六四〇番

十全の……豆炭
▲十全の豆炭は理想的家庭燃料で代價は木炭の三分の一火持のよい事木炭の五倍です
▲二十個の豆炭をコンロに入れ消し炭とませて火を起し二升の飯を煮き上げて煮物、燒物、吸物をこしらへお茶を沸かし
▲あとの火を三個の火鉢にとりわけて一夜を暖かく家庭の團欒に送り……
▲殘り火をお炬燵に分配して明日のお書過ぎまで夜具をあたゝめます。
豆炭販賣の元祖
菅野屋商店
平町四丁目　電話一五七番

建築材料の御用命は
「今一番勉強の當店へ」
かや優良材、碁、將棋盤（新品格安急讓り度し）
銘木 建具材 建築材料 一式
余織田材木商店
平町紺屋町
電話四六〇番

斯界の權威
大塚の靴
品質と値段と親切味の三拍子揃へて
最新型……御案内
三四年式は
黒革洋製品
ゴロフ形 半ボタン靴
先エナメル 八圓より各種
學生靴自家製品
短靴 五圓
編上靴 六圓
平・田町
大塚製靴部
運動具部
電話七十七

藤田女學校前校長飯島彌助殿

病氣療養中ノ處本月十二日午後一時逝去被成候間此段謹告仕候

昭和九年一月十二日
福島縣平町
藤田女學校同窓會

飯島彌助儀病氣療養中ノ處本月十二日午後一時死去致候間此段謹告仕候

追て來一月十四日午後二時自宅出棺天理教會墓地ニ於テ神式ヲ以テ葬儀執行可仕候

昭和九年一月十二日
福島縣平町田町四七
女　飯島榮子
藤田榮助
親戚　飯島直衛
總代　小齋五郎
友人　青沼鋒太郎
山崎清三
總代　平澤信通

▲無硫酸 ▲不凍
▲泡沫 ▲強力
特許 貳億萬圓消火器
福島縣一手特約店
泉屋大嶺商店
假事務所　平町鍛冶町二九
電話五〇三番

電話開通披露
本日より電話五十五番を開通致しました御利用を願ひます
四倉町字新町（松之目向ひ）
音昇魚店
電話九十五番